

資料3-18 三重県における赤潮発生状況（平成30年1月～12月）

整理番号	発生時期(月日)	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積(km ²)	発生水深(m)	最高細胞数(細胞/ml)	漁業被害	情報源
1 (K-1)	5月21日 -6月1日	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	5.21に尾鷲湾でH. akashiwo赤潮が発生した。6.1まで持続し、最高細胞数は112,000細胞/mL(5.25、大曾根、0m)であった。	不明	0-5m	112,000	無	三重県水産研究所
2 (S-1)	7月6日- 8月9日	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Karenia mikimotoi</i>	7.6に五ヶ所湾でK. mikimotoi赤潮が発生した。8.9まで持続し最高細胞数は14,570細胞/mL(7.6、相賀浦大池、0m)であった。	不明	0-5m	14,570	無	南伊勢町南勢水産種苗センター
3 (K-2)	8月21日 -29日	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>H. akashiwo</i>	8.21に尾鷲湾でH. akashiwo赤潮が発生した。8.29まで持続し、最高細胞数は28,475細胞/mL(8.27、大曾根、0m)であった。	不明	0-2m	28,475	無	三重県水産研究所
4 (S-2)	11月19日	志摩度会 (的矢湾)	<i>Akashiwo sanguinea</i>	11.19に的矢湾でA. sanguinea赤潮が発生した。最高細胞数は670細胞/mL(三ヶ所、0m)であった。	不明	0m	670	無	志摩市、水産研究所
5 (S-3)	11月27日	志摩度会 (方座浦)	<i>Mesodinium rubrum</i>	11.27に方座浦でM. rubrum赤潮が発生した。最高細胞数は5,425細胞/mL(寺倉、0m)であった。	不明	0m	5,425	無	立神真珠養殖漁業協同組合、水産研究所
6 (S-4)	11月27日	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>M. rubrum</i>	11.27に五ヶ所湾でM. rubrum赤潮が発生した。最高細胞数は1,680細胞/mL(11.27、杉ノ浦、0m)であった。	不明	0m	1,680	無	南伊勢町南勢水産種苗センター
7 (S-5)	12月4日	志摩度会 (阿曾浦)	<i>M. rubrum</i>	12.4に阿曾浦でM. rubrum赤潮が発生した。最高細胞数は9,620細胞/mL(12.4、弁天、0m)であった。	不明	0-1m	9,620	無	南伊勢町南島水産種苗センター

8 (K-3)	12月5日	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>M. rubrum</i>	12.5に尾鷲湾で <i>M. rubrum</i> 赤潮が発生した。最高細胞数は2,520細胞/mL (引本浦、Om)であった。	不明	Om	2,520	無	水産研究所
------------	-------	----------------	------------------	---	----	----	-------	---	-------

【注】

(1) 「整理番号」は、発生時期の順に一連番号を記載し、()内には発生海域毎に一連番号を記載した。(I、S、Kはそれぞれ伊勢湾、志摩度会、熊野灘北部の各海域を示す。)

(2) 2あるいは3海域にまたがって発生した場合は、各海域のそれぞれに発生したものとして扱った。従って、例えば2つの海域にまたがって発生した場合は、1つの発生に対して2つの整理番号を与え、発生件数は2件とカウントした。

(3) 「発生時期」は、発生が確認された日から消滅日までを記載することを基本としたが、同一海域で発生、消滅（一時的な細胞数の減少）を繰り返したものについては、最初の発生から最後の発生まで（完全な赤潮の終息まで）を1単位として記載した。